

鹿島市総合教育戦略会議（第26回） 議事録（概要版）

- 1 開催日時 令和5年10月12日（木）13時28分から15時00分まで
- 2 開催場所 鹿島市立浜小学校 校長室
- 3 出席者等
 - ・法定構成員 松尾市長、中村教育委員会教育長、池田教育委員会委員、山口教育委員会委員、吉田教育委員会委員
 - ・市長部局 鳥飼副市長、川原総務部長、白仁田総務課長事務局（総務課職員 伊東、眞崎、森元）
 - ・教育委員会部局 江頭教育次長兼教育総務課長、澤野指導主事、三原課長補佐、田代
 - ・傍聴者 なし
- 4 協議事項 鹿島市におけるGIGAスクール構想の取り組みについて
 - (1) 事前説明
 - (2) 授業見学（授業でのPC活用：理科）
 - (3) 意見交換

5 その他

司会：伊東

1 開会

2 市長あいさつ

松尾市長 こんにちは。関係者の皆様方お集まりいただきありがとうございます。先ほど説明がありましたように、第2期鹿島市子ども教育大綱を作って、令和3年から7年までの計画で進めております。ただ昨年度、新型コロナウイルス感染の拡大ということでなかなかこの会議ができませんでした。今年6月にやろうかと思ったときに大雨が降りまして、それも延期ということで今日になったところです。この教育大綱、学校とそれから家庭、地域が一緒になって連携して子どもたちを見守りながらいろんなことをやっていきたいということで、第1期の教育大綱とほとんど方向性は同じです。たださっき話があったように、ICTが普及してきましたGIGAスクール構想も出てきました。そういうことをこれからどうしていくのか、もう一つ新型コロナウイルス感染症、こういう感染症が広がって

おりますので、こういうことも含めて災害対応あるいは感染症対応をどうしていくのかっていうのが一つ大きな課題になってこようかというふうに思っております。今日、久しぶりの会議ですので、皆さん方からいろんなご意見を出してもらって対応していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

3 出席者等

出席者の自己紹介

4 協議事項

(1) 事前説明

(2) 授業見学（授業でのP C活用：理科）

(3) 意見交換

- ・ 本日は貴重な現場を見せていただき、ありがとうございます。
- ・ 私自身がなかなかこのような物を使った学習をしてきておりませんので、こういう使い方があることに感心いたしました。冒頭ありましたように、ペーパーを使ってもできる授業をあえて、ICTの利活用をされていることが勉強になりました。水溶液の匂いを嗅いだり、色を見たりして、班に帰って1人1人が予想を立てていたときに、班でまとめてと先生がおっしゃったのですが、そのときに班の構成のメンバーとの交流みたいなことがされていたのでしょうか。
- ・ 子どもたちが話し合いをする際は、J a m b o a r dというものを活用していますが、このいいところは子どもたちが操作していることが、その場で他の子たちの画面でも同じようにライブで動いているので、画面上で書き込んだりもできます。追加で書き込みできますので、一緒に近くにいらなくても話し合いをしたり、意見交換をボード上でできます。
- ・ 瞬時にそういうことが可能なですね。ありがとうございます。
- ・ 子どもたちのパソコンを扱う速さや、違う画面にポンと行ったときに全然怖がってなくて、ずっと自分で操作しているのがすごいと思ったのですが、ただ、ノートを全く使わずパソコンでされていますが、テストは手書きしますので、漢字、理科はそんなにないのかもしれないですけど、例えば水溶液っていう字をひらがなで書いたとしても丸を付けていますか？日頃書かないとなかなか覚えられない、大人は多分漢字がたまに出てこないですよ、パソコン使っていると。そういったところの問題はないのでしょうか？あとはノートを全てパソコンに入れていると、例えば卒業

するときにはパソコンをお返しするのですよね。その場合それまでの内容は手元に残らないのでしょうか？

- 中学校も同じパソコンを使用していきますので、データとして引き継ぐことは可能です。
- 子どもたちに1人1台パソコンを配布すると同時に、1人1つアカウントを持っており、このアカウントにデータが紐づいてきます。小学校から中学校に上がった際にアカウントを変えるという作業はしないので、基本的にはデータが紐づいているので保持されるっていうところになります。
- そもそもパソコンにはデータ入ってないのでしょうか？
- ドライブ上に入っている状態です。
- 想像以上に子どもたちが慣れていて、変換もひらがなでするのかと思っていたら、ちゃんとローマ字で変換していたようなので、どうやって教えられたのかなど。先生方の負担というのはどうでしょうか？いろいろな年代の先生方がいらっしゃると思いますが、これだけ授業をできるようになるのは簡単なことじゃないのかなど思ってしまうのですが。
- パソコンの操作に関しては、私たちよりも長けている部分がたくさんあるのが現状です。
- 課題としては、作文するわけではなく、ポンと押していくだけで進んでいきますので、文章問題などに関してプリントや授業中に、取り組まなければいけないというところが問題です。
- デジタル化していくことで、子どもたちの考え方とか意欲とかが変化してくるのでしょうか。アナログやっていたときって、先生が言ったことを聞きながら一生懸命するのでしょうけど、デジタルになると自分からいろいろ考えたりできるのではと思うのですが。無限にいろいろ広がっていくわけですよね。
- 今までは、情報を与えられている方が多かったと思うのですが、こういう端末を利用することで自分から情報を取りに行くという主体的なところは増えてきたのかなど思っています。自分たちの疑問から問題を作って解決していこうっていうスタイルが増えてきたなという感じはします。
- 確かに問題と課題を解決するような力を今からつけていく必要があると思うし、先生が言うことをずっと聞いているよりは、次はこうだろうとか、こんな感じかなって調べていったりする教育のやり方は必要になると思います。もう1つ聞きたいことがあるのですが、パソコンの使えることと理解がリンクするのでしょうか。先生が言っていることを理解できるのかどうかというところ。パソコンをうまく使用できるかの差、そのフォルダが何とか言われても、ぱっと感覚で分かって先を読

んでどんどんできる子がいると思いますが、その差はあるのでしょうか。

- ICT支援員に来ていただいて、助けてもらうことでサポートをしながら進めているところではあります。
- ICT支援員は、不定期で市内の学校を周っているのでしょうか？
- 小学校は週に1回、ICT支援員さんが来ていただいております。その日しかないもので、他のときはスポットでの支援をいただいている状況です。
- 子どもたちがデジタルに完全に溶け込んでいるというか、当たり前になっていて、地区の活動で防犯をデジタルでしようとなったときに、そのとき初めて見た機械をパッと扱って、どうやって使えているのだろうとなって。こういう子たちが社会人になったときは、すごいだろうなど。
- この教育を進めていく上での課題はあると思いますが、多分、学校の先生たちがどのような授業をしていくかというのが一番大きいと思いますが、その辺とはどんなことをされているのでしょうか？授業のやり方を変えていかないと、今やっているのと同じ授業をして、デジタルでノートにとりました、写真を撮りました、これだったらあまり変わらないような感じがする。GIGAスクールを進めていくと授業のやり方とか、生徒と先生の関係もどんどん変わってくるのかと思うんですけど、その辺はどんな課題でしょうか。
- 一番懸念しているのは、あまりに便利すぎてもう学校に行かなくていいんじゃないかというのが懸念です。やはり学校という一つの集団の中で、学ぶ良さというのは、登校して学んでもらってもらいたいなど。
- 端末を導入して3年目くらいですが、何か不具合・故障が発生したことはありますか？
- 故障の分類としては、おおよそ2つ、物理的な故障、画面が割れたなど、もう1つが内部的、例えばパソコンが立ち上がらなくなった・操作がおかしいと分けられると思います。後者のパソコンが動かなくなったという方に関しては、ほぼ100%こちらの方で対処が可能なのです。物理的に故障したものは、今3年目でトータル2,600台くらい導入しているうち、壊れたというのが45台くらいになります。県全体の調査を見ても、他の自治体と比べるとかなり少ない数です。
- (小学校では)6年間ずっと使うのですか？
- 基本的にその学校内で使い回して、1年生から6年生までは同じものを使いましょうという形で。
- まず一つはこれまでの戦略会議の議論の中で、大きな課題として教職員の皆様の多忙化の解消について検討されております。GIGAスクールに直接あるかどうかわかりませんが、タブレットの導入に伴って、先生たちの多忙化の解消の一助にな

ったかどうか教えていただければと思います。それともう一つ、これは個人的質問ですが、1人1台パソコン導入で児童の学力の変化がありましたら、教えていただきたいと思います。

- 学力の質問からお答えします。職員（の多忙化）に関しては、私は短縮がすごくできています。これまでのデータなどが全てある状態で、教材の共有を鹿島市の中でしていただけてますし、いろんな教材を自分で作らずとも、いろんな学校からいただけてきていますので、こういうことを続けていければ、よりスムーズに教育活動ができるかなと思っております。
- 教材の共有は、鹿島市内だけでなく他の自治体ともできますか。
- 今は市内でクラウドを共有しているところで、他の市町はWindowsキーがあったりして共有していませんが、近隣の市町と共有の話を考えているところです。
- 子どもたちが解いたものはこれですが、回答を押すとすぐ答え合わせをする、こういうふうに丸つけを自動でしてくれた後に、なぜ間違えているかの解説もされるようになっていきます。私も、教員のページで子どもたちの理解度がどのぐらいか、先日の宿題は誰が何%できているのか、何時間かけたのかというのも全部出るようになります。

• それでは、これをもちまして総合教育戦略会議を閉じさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(15:00)